

埼玉県信保協

サステナ投資を推進

SDGs達成に向け

埼玉県信用保証協会（砂川裕紀会長）は、埼玉県が主催する「埼玉県SDGsパートナー」として、SDGs（持続可能な開発目標）達成に向けて、サステナビリティ債券への投資や専用の信用保証制度の利用促進を進める。

投資したサステナビリティ債券は、国際協力機構（JICA）が8月20日に発行した「アフリカ・TICA

D債券」、埼玉県が同29日に発行した「埼玉県ESG債」。

調達資金は、環境問題の解決を目指すグリーンプロジェクト、社会的課題の解決を目指すソーシャルプロジェクトの双方に充てられる。

同協会が独自に扱うSDGs普及促進保証（ステップワン保証）は2022年4月に創設。SDGs達成に向けて活動する中小企業

などが対象。保証限度額3千万円、保証期間は84カ月（据え置きは運転資金が6カ月以内、設備資金が12カ月以内）。「SDGs宣言確認書」を提出することで、信用保証料を最大10%優遇する。

年4カ月で258億円（2173件）の利用となっている。

同保証は、「埼玉県SDGsパートナー」に登録する銀行（埼玉りそな、武蔵野、東和）、信用金庫（埼玉県、川口、青木、飯能）、熊谷商工信用組合、埼玉県信用農業協同組合連合会、いるま野農業協同組合の10機関が取り扱う。

25年7月末までの3